

学修目標

この教科は、“教材としての講義”を聴講しながら、その内容について各自がノートテイキングをする演習教科である。トレーニング的に何度も反復することで、理解すべき知識をノートテイキングによってきちんと収集し、整理・体系化できるように“技法(わざ)”を身につけるのが目的である。

- 教科書：指定しない。本教科の趣旨にもとづいて、プリント配付も最小限に留める。
- 参考書：指定しない。更なる学習のために担当者が授業時に紹介することはある。
- 授業時間：木曜日 15:00～16:50 合計 15 回
- オフィスアワー：磯川桂太郎 月曜日 12:00～13:00
小林 真之 木曜日 17:00～19:00
鈴木 直人 月-金曜日 12:00～13:00
今井 健一 金曜日 17:00～18:00
坪井 美行 水曜日 17:00～18:00
浅野 正岳 月曜日 17:00～18:00
- 成績評価：定期試験は行わない。授業中、所定の用紙 **CKG** に記入を求められる種々の提出物(聴講時のノートや課題への解答などで合計 30 件)を基礎データとして、成績評価表示 S, A, B, C による相対評価を行う。
- 注意事項：
 - ・この演習では学年番号順の座席指定(別途通知)を行う。
 - ・この授業中は、配付された所定の用紙と筆記具のみ使用可。録音/撮影、書籍/電子辞書や電子デバイス等は特に許可のない場合は使用禁止。
- 準備学習：演習の趣旨に照らし準備学習は不要だが、授業時間中は“ひたすら書く”こと。

授業日	演習項目	担当者
4月 2日	オリエンテーション (演習の進行)	磯川桂太郎

[スキルアップ]

この演習ではスキルアップ・トレーニングを都合6セット実施するが、その各々は、原則として次のような手順で進められ、2週で4件の提出物 **CKG** が生じる(6セットでは合計24件)。

[第1週]

- ① 担当者による“教材としての講義” (50分前後)
- ② 学生は、配付される所定のノートテイク用紙 [**CKG-1**] に聴講内容を記録
- ③ 聴講後、取ったノートをもとに論述課題 long-answer essay questions に取組んで解答 [**CKG-2**]
- ④ 担当者は、**CKG-1**と **-2** を回収して次週までに精査

[第2週]

- ⑤ 第1週に提出されたノートの中で参考となるもの(**Selected CKG-1**)を、学生全員に電子配信
- ⑥ 学生が取ったノート **CKG-2** を返却。精査した結果については担当者が学生に総合講評

- ⑦ 学生は、Selected CKG-1をもとに、第1週とは別の論述課題に取り組んで解答 [CKG-3]
- ⑧ CKG-1とSelected CKG-1 を比較検討し、自分のノートテイキングの改善案 [CKG-4] を策定
- ⑨ 担当者は、第2週の CKG-3 と -4 を回収して後日精査

[講演聴講]

この演習では講演の聴講を2度実施するが、その各々は、原則として次のような手順で進められ、1講演につき、「学生が取ったノート、質問事項メモ、聴講サマリー」という3件の提出物、すなわち CKG-5, 6, 7が生じる (2講演で合計6件)。

- ① 講演内容をノートテイク [CKG-5]
- ② 講演終了直後に所定の用紙 [CKG-6] に質問事項を書く (CKG-6はすぐ回収)。
- ③ 学生と演者での質疑応答
- ④ 学生は、講演内容について聴講サマリー [CKG-7]をまとめる (40分前後)。
- ⑤ 担当者(&演者)は、CKG-5 と CKG-7 を回収して後日精査

授業日	演習カテゴリ		教材講義のテーマ (仮題 H27.1 現在)	担当者
4月 9日	I	第1週	命の誕生とその継承	磯川桂太郎
4月16日		第2週		
4月23日	II	第1週	神経細胞における情報処理様式	小林 真之
4月30日		第2週		
5月 7日	III	第1週	病気がみえる -代謝異常-	鈴木 直人
5月14日		第2週		
5月21日	IV	第1週	人類と感染症との闘い	今井 健一
5月28日		第2週		
6月 4日	V	第1週	筋収縮機構	坪井 美行
6月11日		第2週		
6月18日	VI	第1週	口腔内に生じる癌の話	浅野 正岳
6月25日		第2週		
7月 2日	講演聴講 VII		講演テーマ： 歯・口の健康づくりは全身の健康にも貢献する	日本大学歯学部 前野正夫 氏
7月 9日	講演聴講 VIII		講演テーマ： ポジトロン・エミッション・トモグラフィで何が見えるか？	理化学研究所 崔 翼竜 氏